

巻頭言

鑑往知来……………井上康志

総合報告

表面プラズモンの基礎と時間分解イメージング
……………久保 敦ほか

解説

プラズモン共鳴のキラル光学効果……………岡本裕巳
大気中チップ増強ラマン分光におけるプラズモンを
介したフォノンモード活性化

……………Maria Vanessa Balois-Oguchi ほか
グラフェンディラックプラズモンの物理とそのテラ
ヘルツ機能デバイス応用……………尾辻泰一

フォーカス

表面プラズモンと電子のスピン流……………大上能悟ほか

光学ハイライト

気になる論文コーナー

今後の特集予定

53 巻 8 号「分子・原子分解能をめざすナノプローブ分光」

53 巻 9 号「バーチャルリアリティと光学技術の融合」

53 巻 10 号「次世代の人工現実感を映し出す技術」

53 巻 11 号「バーチャルリアリティが切り開く視覚科学」

53 巻 12 号「ハイパースペクトルイメージングの技術動向」

「2023 年日本の光学研究」を無事発刊することができました。本誌「光学」では、光学の幅広い分野ごとに 1 年間を代表する研究を選出し、専門家にわかりやすく 1 ページで解説していただく企画を毎年実施しており、その特集号がこの「〇〇年日本の光学研究」となります。2023 年も各分野での光学技術の進展が目覚ましく、本号に選出された研究成果はそれぞれの分野で新たな知見をもたらし、未来への道標となるものです。

本特集号は、単に優れた研究成果を羅列したのではなく、読者の皆様にその意義や背景を理解していただけるよう、専門家の先生にできるだけ平易な言葉で、わかりやすい図を使用してご解説いただいています。これにより、学術的な知識が一層身近なものとなり、知的好奇心を刺激する一助となれば幸いです。最先端の研究成果を一度に学べる機会はなかなか得られないので、「光学」の読者も、そうでない方にも是非ご覧いただきたい 1 冊です。

最後に、本特集号は大変多くの協力者により発刊にたどり着くことができました。ご専門の研究を 1 ページで解説していただきたいという無理難題をご快諾いただきました著者の皆様、さまざまな分野の記事の編集にご尽力いただきました光学編集委員の皆様、そして、本号で解説いただく研究をご推薦いただいた皆様に、深い感謝の意を表します。「2024 年日本の光学研究」へも、多くのご推薦をお待ちしております。

(酒井, 中村, 金高, 水谷, 堅, 中川, 芦原)

原著論文を募集しています

「光学」では、日本語の原著論文を募集しています。会員・非会員を問わず、自由に投稿できます。皆様の意欲的なご投稿をお待ちしております。

また、上記に加え、特集テーマに関連のある原著論文も募集しています。この場合、採択となった論文はその特集号に合わせて掲載できるよう、査読作業をより迅速化いたします。特集テーマ関連の投稿締切は、当該特集号発行月の 4 か月前の 10 日です。特集号を明記のうえご投稿ください。

日本光学会ホームページ <http://myOSJ.or.jp/>

光 学 2024 ©

第 53 巻 第 6 号 <月刊>

2024 年 6 月 10 日 発行

定価 1,500 円 (送料実費)

発行/ 一般社団法人 日本光学会

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11

常光ビル 7F 有限会社学術新報社内

E-mail: info@myOSJ.or.jp

印刷/ 大昭和印刷株式会社

「光 学」編集委員会

芦原 聡*	的場 修**	内田 美幸	江川麻里子
大平 倫裕	岡野 誉之	奥平 陽介	桶谷 亮介
角田 英俊	金 蓮花	黒坂 剛孝	小林 弘和
酒井 大輔	庄司 暁	瀬谷 安弘	田代 知範
堅 直也	玉田 洋介	張 開鋒	角井 泰之
中川 桂一	中山 雄太	日達 研一	藤井 瞬
藤井 宏昌	藤村佳代子	細木 藍	堀切 智之
堀崎 遼一†	水谷 康弘†	三宅 大助	本山 央人
安田 英紀	矢次 健一	和田 篤	

*委員長 **副委員長 †光科学及び光技術調査委員長

編集局 新沢佐和美

制作/ 有限会社学術新報社

電話 03-3816-3991 Fax 03-3816-3992

E-mail: kogaku@academic-j.co.jp